

Media Release

平成 17 年 12 月 日

報道関係各位

シンジェンタ ジャパン株式会社

生まれつき強い。発芽直後から効果を現す、だいの新殺虫剤

新時代の害虫防除 - だいの種子処理用殺虫剤「クルーザー[®] FS30」の
北海道における販売開始のお知らせ

シンジェンタ ジャパン株式会社（本社：東京都中央区、マイケル・ケスター社長）は、平成 17 年 12 月 1 日より、新規の種子処理用殺虫剤「クルーザー[®] FS30」の販売を北海道にて開始しました。

「クルーザー[®] FS30」はだいのアブラムシを防除する種子処理専用の殺虫剤です。有効成分チアメトキサムが種と根の両方から吸収され、発芽直後からだいの芽を害虫から守ります。平成 16 年 11 月 2 日に農薬登録を取得後、平成 17 年夏に北海道において実用性確認試験を実施し、主なだいの産地と共同で検討を重ねた結果、防除効果だけでなく作業性においても生産者に大きなメリットをもたらす剤ということが確認され発売にいたしました。

「クルーザー[®] FS30」の特長は次の通りです。

1. は種前の種子処理により、発芽直後から確実にアブラムシを防除します。
2. 種子処理のため天候に左右されず、防除適期を逃さないのが安心です。
3. フロアブル製剤なので、いやな臭い、粉立ちもなく安心して作業ができます。
4. 高品質な大豆づくりと、収量の安定をささえ、防除作業の軽減も期待できます。

「クルーザー[®] FS30」は赤色の種子処理専用のフロアブル製剤です。乾燥種子に直接薬剤を処理することで、発芽直後からアブラムシに対して高い防除効果を発揮します。これにより北海道で、だいの生育初期にダイズわい化病ウイルスを媒介することで問題となるジャガイモヒゲナガアブラムシを確実に防除することができます。また、さまざまな処理方法が可能で、ビニール袋やビニールシートを利用した塗抹処理や、肥料混和機やミキサーを利用した塗抹処理など、種子の量に合わせて処理方法を選択することができます。農作業の繁忙期に、確実にしかも簡便にアブラムシを防除できる画期的な処理方法は、生産者の皆さんの期待に応える製品といえます。

「クルーザー[®] FS30」は、シンジェンタジャパンの商系ルートとホクレンを通じて北海道のみで販売いたします。北海道以外での販売については、技術的適合性や市場性などを検討中でございます。

シンジェンタは、革新的な研究と技術により持続可能な農業を約束する、世界のアグリビジネスをリードする企業です。農薬の分野では世界第2位、高付加価値種子の分野では、世界第3位にランクされています。2004年度の売上高は約73億ドル(約7,888億円)、世界90カ国以上で事業を展開し、約20,000人の従業員を擁しています。シンジェンタは、スイスおよびニューヨークの株式市場に上場しています。さらに詳しい情報は、インターネットwww.syngenta.com (英語)または、www.syngenta.co.jp (日本語)をご覧ください。

この件に関するお問い合わせ先
シンジェンタ ジャパン株式会社

広報 大塚 真理子

電話 03-6221-1001

ファクシミリ 03-6221-1052

〒104-6021 東京都中央区晴海1-8-10 オフィスター X21 階